

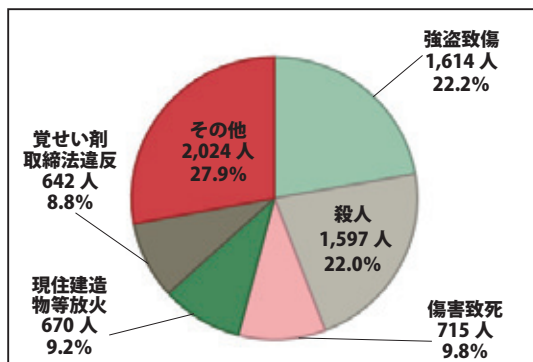
# 裁判員制度の実施状況について

平成21年5月21日に裁判員制度がスタートして平成27年5月で6年が経過します。スタートから平成26年12月までの間に、裁判員裁判で7,262人の被告人に判決が言い渡されました。このコーナーでは、その間の裁判員裁判の実施状況（統計データ・裁判員等経験者に対するアンケート結果）についてお知らせします。

## 判決人員

平成26年12月までに行われた裁判員裁判における判決人員の内訳を罪名別で見ると、【図1】のとおり、強盗致傷事件1,614人（22.2%）、殺人事件1,597人（22.0%）、傷害致死事件715人（9.8%）の順になっています。

【図1】 罪名別判決人員



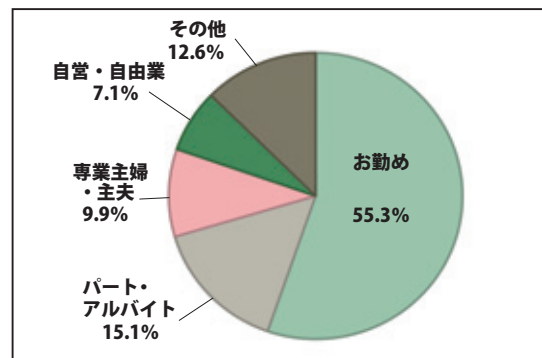
（注）四捨五入により、合計100%にならない。

## 裁判員の数等

平成26年12月までに裁判員に選ばれた方は41,834人です。

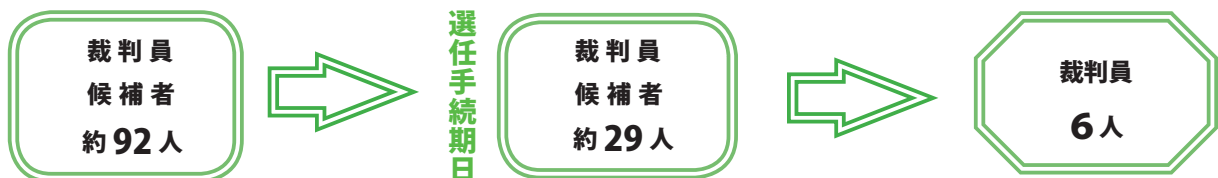
アンケートの結果によると、性別は、男性が54.9%、女性が43.3%（無回答が1.8%）となっており、年齢もほぼ各年代からまんべんなく選ばれています。職業については【図2】のとおりです。

【図2】 裁判員の職業



## 選任手続の状況等

1事件あたりの平均で見ると、個別の事件ごとの裁判員候補者として約92人の方が選ばれていますが、このうち60.2%の方は辞退が認められています。また、事前に辞退が認められた方などを除いた方のうち、76.5%にあたる約29人の方に裁判所で行われる選任手続期日にお越しいただき、この中からくじで6人の裁判員が選ばれました。



## ■裁判員等になる確率■

1年間で裁判員  
または補充裁判員  
になる確率は

約1万0800人に1人  
※平成26年の場合

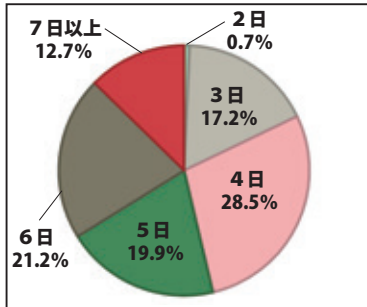
平成27年用の  
裁判員候補者名簿  
に登録された方は

全国で約23万3800人  
選挙人名簿登録者全体に占める割合は  
約445人に1人

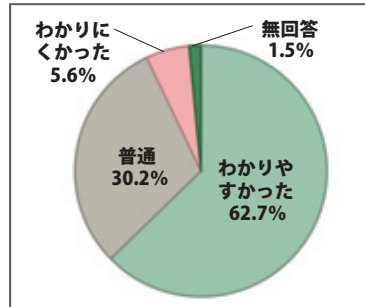
審理・評議の状況

- (1) 裁判員が裁判手続に参加した日数は、平均約5.3日でした【図3】。  
 また、判決の内容を決めるための評議の時間は、平均約9.8時間でした。
- (2) 審理の内容については、62.7%の裁判員が「わかりやすかった」、評議については、72.6%の裁判員が「十分に議論ができた」と回答しています【図4】【図5】。

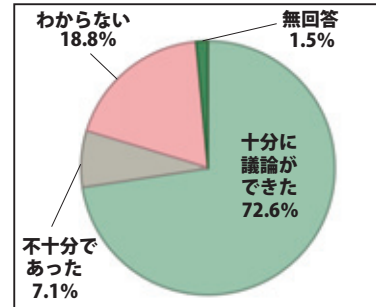
【図3】 裁判員が裁判手続に参加した日数



【図4】 審理内容のわかりやすさ



【図5】 評議における議論の充実度



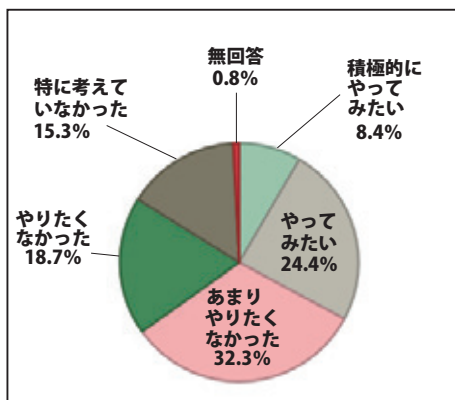
(注) 四捨五入により、合計100%にならない。



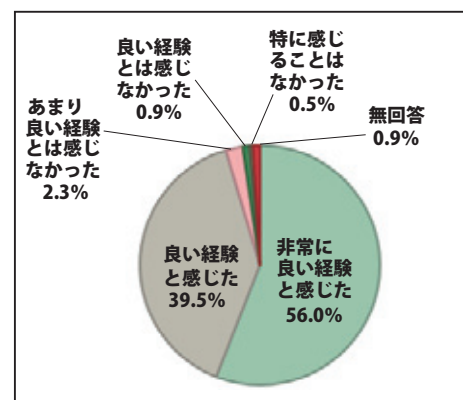
裁判員に選ばれる前の気持ち・裁判に参加した感想

- (1) 裁判員に選ばれる前は、「あまりやりたくなかった」又は「やりたくなかった」と回答した方が合計51.0%に上っていましたが、裁判員として裁判に参加した後では、合計95.5%の方が「非常に良い経験と感じた」又は「良い経験と感じた」と回答しており、充実感をもって裁判員としての職務に従事していただけたことがうかがえます【図6】。
- (2) 裁判所の対応（職員の対応・設備）については、73.5%の方が「適切であった」と回答しています。

【図6】 裁判員に選ばれる前の気持ち



裁判員として裁判に参加した感想



(注) 四捨五入により、合計100%にならない。

(注) 四捨五入により、合計100%にならない。



## ■裁判員経験者の声■

今まで、年が離れている人に自分の考えを話す機会はなかなか無かったので、今回評議したことで、自分の**自信にもつながりました**。また、ドラマとかでしか裁判というものを知らなかったもので、どういものか知って勉強になりました。(20代・女性・無職)

専門用語が多いのではないかと心配していたけれど、法廷では、**素人でもとてもわかりやすく**、安心しました。(60代・女性・パート・アルバイト)

裁判長をはじめ、裁判官の方々が**話しやすい雰囲気**をつくっていたので、話しやすかったです。**体調や疲れ等も気にかけてもらい、休憩もよいタイミング**でとってもらいました。(30代・男性・お勤め)

日本の法律や裁判について深く考えるきっかけとなりました。また、裁判所・裁判官の**裁判員へのサポート**もかなり充実していました。更には、事件を通して**自分の人生を見つめる契機**となり、**周囲への感謝の気持ちも再認識**できました。(20代・女性・お勤め)

もっと秘密を守らなければならないイメージがありましたが、評議の内容以外は厳しくない感じを受け、**職場への連絡がしやすかった**です。また、刑を決める責任への意識が変わりました。被告人に直接質問ができるとは知らなかったもので、良い経験となりました。(40代・男性・お勤め)

量刑など人の人生に関わることを考えるのは正直重責と感じます。それでも、この裁判員裁判を経験する前と後では、知らなかった世界を垣間見て、自分にとってはすごく勉強になりました。**周りの人が選任されたら、「絶対やってみなよ」と**言います。(40代・女性・パート・アルバイト)

普段は考えない色々なことに目が向きました。**これからの人生にプラスになりました**。(50代・男性・お勤め)



## 裁判員制度をより詳しくお知りになりたい方へ

ウェブ

「裁判員制度ウェブサイト」

<http://www.saibanin.courts.go.jp/>

裁判員制度の実施状況（統計データ・アンケート結果）や裁判員制度の運用に関する各種資料を紹介しています。また、裁判員制度に関する出張説明会や法廷見学会等を実施している裁判所もありますので、最寄りの地方裁判所のページ（裁判所ウェブサイト（<http://www.courts.go.jp>）の「各地の裁判所」のバナーから入れます。）もご覧ください。

パンフレット

「裁判員選任手続パンフレット」 …主に裁判員選任手続の概略を簡単に説明

「よくわかる！裁判員制度 Q&A」 …Q&A 形式の漫画で裁判員制度をわかりやすく説明

「裁判員制度ナビゲーション」 …図表等の資料を使いながら裁判員制度を詳しく説明

これらのパンフレットは裁判員制度ウェブサイトでご覧いただけます。また、ご希望の方には、全国の地方裁判所で無料で配布していますので、最寄りの地方裁判所総務課にお問い合わせください（数に限りがあるため、ご希望に添えない場合もございます。）。